

実績確認概要書

平成 29 年 11 月 2 日
ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC0922
排出削減事業者名	外山木材株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	志和池工場 (宮崎県都城市上水流町 1878-8)
事業の概要	本事業は、A 重油ボイラ 6 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO ₂ 排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2013 年度 1,967 tCO ₂ /年 2014 年度 1,967 tCO ₂ /年 2015 年度 1,967 tCO ₂ /年 2016 年度 1,967 tCO ₂ /年 2017 年度 1,967 tCO ₂ /年 2018 年度 1,967 tCO ₂ /年 2019 年度 824 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 12,626 tCO ₂)
Jクレジット認証期間	開始日 2011 年 9 月 1 日 終了予定日 2019 年 8 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2015 年 10 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日 (第 5 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	4,922 tCO ₂ (2015年 10月 1日 ~ 2017年 3月 31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 5回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後バイオマスボイラは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における給水メーターによる計測データ集計等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリングの方法 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2) 活動量の正確性 バイオマスボイラ給水量は、給水メーターの計測結果の記録により適切に把握していることを確認した。また、管理圧力蒸気、給水温度についても記録値を確認し、その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、J クレジット制度モニタリング・算定規定（排出削減プロジェクト用）Ver.2.8及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計</p>

	<p>算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>また、本事業において、リーケージ排出量を評価した結果、排出削減量の 5%未満であることを確認している。</p>
<p>算定期間が 2019 年 8 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2015 年 10 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2019 年 8 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし

6. 特記事項

本モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量について、77,198 GJ であることを確認した。

前回比 20%を超えたが、理由は、2015 年 1 月に木材乾燥機 100m³ 型 2 台が増設されて乾燥能力が約 20%増え、バイオマスボイラーの稼働率が上がったため、削減量の増加となりました。

以上